

岸和田市スポーツ推進審議会 会議録

日 時	令和4年10月3日（月）午後3時から
場 所	岸和田市職員会館2階大会議室
出席委員	室田委員長、大荷委員、斉喜委員、南出委員、松田委員、瀧委員、岸本委員、徳久委員、井出委員、浜口委員 以上10名
欠席委員	宮本副委員長、上口委員、金子委員、柿原委員、以上4名
会議の成立	委員の出席が過半数以上のため、「岸和田市スポーツ推進審議会規則」第5条第2項により会議が成立
出席者 事務局	教育委員会：生涯学習部：牟田部長 スポーツ振興課：庄司課長、西川主幹、畑部主幹、水谷主査、杉本担当員
傍聴者	0名
次 第	1. 新委員委嘱式 （1）委嘱状の交付 2. 開 会 3. あいさつ （1）委員長挨拶 （2）教育委員会・事務局出席者紹介 4. 案 件 （1）令和4年度スポーツ振興事業予算について （2）令和4年度スポーツ振興主要事業について （3）令和4年度スポーツ振興事業補助金について （4）その他 5. 閉 会
会議資料	資料 1 令和4年度 スポーツ振興事業総括歳出予算 資料 2 令和4年度 スポーツ振興主要事業一覧表 資料 3 令和4年度 岸和田市スポーツ振興事業補助金 資料 4 令和3年度 岸和田市の社会体育の現状 資料 5 岸和田市スポーツ推進計画（抜粋） 資料 6 岸和田市スポーツ推進計画の進捗状況 資料 7 令和4年度スポーツ推進審議会委員名簿（令和4年度） 資料 8 岸和田市附属機関条例 資料 9 岸和田市スポーツ推進審議会規則 資料 10 スポーツ推進計画アンケート

1. 新委員委嘱式

2. 開 会

3. あいさつ

(1) 委員長挨拶

(2) 教育委員会、事務局出席者紹介

事 務 局：当審議会規則第5条第1項の規定により委員長に本会議の議長をお願いしたいと思
います。よろしくお願いいたします。

4. 議 事

委 員 長：案件1、2は関連しますので、一括して事務局より説明願います。

事 務 局：それでは、「令和4年度スポーツ振興事業予算、並びに令和4年度スポーツ振興主要事
業」について、事前に配布しております資料1・2により、説明させていただきます。

案件1につきまして、資料1をご覧ください。

令和4年度スポーツ振興事業総括歳出予算でございます。

「保健体育総務費」の令和4年度予算額が1,503千円、令和3年度予算額が1,527千
円、対前年度比率が98.43パーセント

「一般体育振興費」の令和4年度予算額が24,959千円、令和3年度予算額が40,875
千円、対前年度比率が61.06パーセント

「市民道場費」の令和4年度予算額が4,062千円、令和3年度予算額が3,873千円、
対前年度比率が104.88パーセント

「市民プール費」の令和4年度予算額が47,624千円、令和3年度予算額が45,889千
円、対前年度比率が103.78パーセント

「運動場管理費」の令和4年度予算額が60,947千円、令和3年度予算額が57,774千
円、対前年度比率が105.49パーセント

「市民体育館費」の令和4年度予算額が157,448千円、令和3年度予算額が120,969
千円、対前年度比率が130.16パーセント

合計、令和4年度予算額が296,543千円、令和3年度予算額が270,907千円、対前年
度比率が109.46パーセントでございます。

昨年度と比べ、予算の差額が全体として25,636千円の予算増となっております。

予算減額項目の主な要因ですが、一般体育振興費につきましては、昨年度のスポーツ
施設予約新システムの導入に伴い、システム使用料の支払先が生涯学習課に移行した
ため、スポーツ施設情報システム事業の電算機器・システム使用料が前年比減額とな
っております。

一方、予算増額項目の要因ですが、市民体育館費につきましては、総合体育館空調用
冷温水機改修工事等、総合体育館管理事業の工事費が前年比増額となっております。

その他の項目につきましては、大きな増減はございません。

資料 1 については以上でございます。

案件 2 につきまして、資料 2 をご覧ください。

令和 4 年度に実施予定の、本市スポーツ振興主要事業一覧表でございます。

表の上段から「スポーツ施設情報システム事業」「学校体育施設開放事業」、WMG2021 関西開催事業、各スポーツ大会等の開催事業として「市民スポーツ大会等」、

「スポーツ少年大会」、「市民スポーツカーニバル」、「市民ゲートボール大会」、「K I X 泉州国際マラソン」、表の中段から下の方に「スポーツ教室の開催」事業、そして、「市民道場」、「市民プール」、「運動広場等」、「中央体育館」、「総合体育館」、

の各施設管理運営事業がございます。

それぞれの予算額や内容等については記載のとおりですが、予算額増減の主なものをご説明させていただきます。

「スポーツ施設情報システム事業」につきましては、昨年度中の今年 2 月より現行のオーパスシステムから新たに「岸和田市公共施設予約システム」を移行導入しております。

今年度の予算の減額につきましては、新システムのシステム使用料の支払いを生涯学習課が所管することとなったため、今年度予算減となっております。

「WMG2021 関西開催事業」につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、大会開催計画が 2027 年度に延期されたことに伴い、事業実施運営委託料並びに開催負担金が予算項目から外れているため、今年度大幅な予算減となっております。

「総合体育館」につきましては、数年来、経年劣化により改修が必要な箇所について、順次、改修工事を行っておりますが、今年度は昨年度より改修箇所・規模が大きいため、予算増額となっております。

その他の事業につきましては、昨年度と大きな違いはありません。

資料 2 については以上でございます。

委員長：ただ今事務局から、案件 1、案件 2 についての説明がありましたが、ご質問等がございましたら発言願います。

委員：ゲートボールについて、市民スポーツ大会におきましては、スポーツ協会が 25 連盟の各競技を主催し行っています。この中にゲートボールは入っていません。ゲートボール大会だけ以前からの流れで独立しているようですが、スポーツ連盟に入ってもらってはどうか。これだけ市民大会を独自に委託する理由があるのでしょうか。例えば、スポーツ協会にグランドゴルフ連盟が参入していて、3 年間は活動状況を見るといことで、会長や役員と相談し市民大会に 3 年間 5 万円だけ市民大会の費用として助成しました。大会には 1,000 名近くの方が参加しています。グランドゴルフ連

盟は、高齢者が多いです。ゲートボール連盟の12万円8千円と比較すると、羨ましい限りです。なぜゲートボール連盟だけ独立して市民大会を委託しているのでしょうか。スポーツ協会は、年間400万を25連盟に委託しています。ところが、この資料をみると参加者80名で12万8千円となっています。スポーツ協会の参加連盟に対しては、会計を明確にし、不足分は参加費として徴収し、市民大会を行っています。

事務局：この件については、昨年もご意見いただき、過去の経緯も確認しましたが、かなり以前からの大会であり、詳細は明らかではありませんが、スポーツ振興課として、ゲートボール大会を別扱いすることではありません。昨年度、ゲートボール連盟にはスポーツ協会に加入し、市民スポーツ大会ゲートボールの部としての継続を働きかけましたが、急な申し出ということもあり、実現しませんでした。会員の高齢化や会員数の減少が主な理由のようです。ゲートボール連盟とは、引き続き協議してまいります。

委員：スポーツ協会に入るかどうかはもちろんですが、ゲートボール連盟だけが独立して市民大会を委託しているのが気になります。昔からの流れといわれますとそうなのかと思いますが、しっかり考えるべきではないかと思います。

事務局：過去にどういう経緯で別開催となっているかはわかりませんが、基本的に市民スポーツ大会については、スポーツ協会に市が委託している事業であり、協会に賛同し加入している連盟で開催していただける大会を委託しています。全ての種目連盟が加入しているわけではありませんので、スポーツ協会に所属している連盟が開催している市民大会と、それ以外でスポーツ協会に加入していないゲートボール連盟には直接市が委託しています。

委員：スポーツチャンバラ連盟や空道連盟等からスポーツ協会に加入したいといわれています。活動状態、例えば規模・活動回数などを考えると、現在協会加入を我慢してもらっている現状でありそれを分かっていたきたいと思います。ゲートボールの件は今後も考えてほしいと思います。

委員長：これについてどのような経過になったのか事務局からスポーツ協会へ説明をお願いしたいと思います。他に何かございませんか。

委員：さきほど市民道場費が大幅にアップしていると説明があり、その他市民体育館費は施設の改修などで増収していることは説明いただいたので分かりましたが、ただこの資料を見ると運動広場管理費がアップしていますよね。なぜ説明がないのですか。もう一点は、春木グラウンドは水が溜まると2、3日使えない状態になります。そんなと

ころがあるのにこの管理費はどのように使われているのでしょうか。サッカーゴールはボロボロになっていました。それは早急に対処していただいたのですが、これだけ予算があるなら、市民が直してほしいところを早く対応してほしいと思います。今後の課題として春木グラウンドは、雨が降ったあと使えないので早急に対処してほしいと思います。予算が上がっているにも関わらず対処できていないのでよろしくお願いしたいと思います。

委員長：他にございませんか。今のご意見はよく分かりました。検討していただいて改善できるようにお願いします。ご意見がないようでしたら次に進ませていただきます。次に案件3の令和4年度スポーツ振興事業補助金について事務局から説明をお願いします。

事務局：案件3につきまして、令和4年度岸和田市スポーツ振興事業補助金でございます。補助事業の実施団体は3団体でございます。

まず、「NPO 法人岸和田市スポーツ協会」ですが、市民スポーツ大会等の開催、大阪府総合体育大会への選手派遣、機関新聞発刊等の広報事業、各種研修活動、奨励金支給事業等により、補助金予算額が36万円です。

次に、「岸和田市スポーツ推進委員協議会」ですが、ファミリースポーツの開催、市民スポーツカーニバルの開催、各種研修活動、地域スポーツ推進事業等により、補助金予算額が17万5千円です。

最後に、「岸和田市スポーツ少年団」ですが、スポーツ少年大会の開催、泉南地区等スポーツ少年団大会への参加、スポーツ少年団指導者の研修活動、他団体との交流活動等により、補助金予算額が12万円でございます。

補助金につきましては、岸和田市全体で内容の再調査、見直しがなされているところです。

昨年度、岸和田市スポーツ推進委員協議会においては、2万5千円の補助金減額となりました。

減額の理由ですが、本協議会の会員であるスポーツ推進委員は、岸和田市の非常勤職員として任用し活動していることから、移動交通費を実際の活動に応じて個別に支給することとし、団体補助金に含めておりました交通費相当額を差し引き、予算要求を行った結果でございます。

なお、岸和田市スポーツ協会につきましては、昨年度の交付額が36万円から減額され、26万6千円となりました。これは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により岸和田市民スポーツ大会各種目大会をはじめ、各種事業の多くが中止又は縮小となったことにより、補助対象事業の支出が大幅に減額となったことによるものです。

なお、3団体ともに補助金の上限額は、令和4年度の予算額としては昨年度と変わり

ございません。

それぞれ、岸和田市スポーツ振興事業補助金交付要綱に基づき交付する予定でございます。

案件3については以上でございます。

委員長：案件3について説明がありましたが、ご質問はございませんか。スポーツ事業補助金は、スポーツ基本法で地方公共団体がスポーツ団体に対し補助金の交付をしようとする場合は、教育委員会がスポーツ推進審議会等の合議制の機関の意見を聴かなければならないとなっています。意見がないようですので原案通り進めさせていただきます。次に案件4、その他について事務局から説明をお願いします。

事務局：3点報告事項がございます。1点目は令和3年度岸和田市の社会体育の現状についてご説明します。資料4をご覧ください。1ページに社会体育施設の一覧を記載しております。2ページから5ページには過去3年分のスポーツ大会等の社会体育行事の参加者数を記載しております。6ページから12ページにかけては、運動広場等・プール・総合体育館・中央体育館・市民道場心技館の社会体育施設利用者数を記載しております。

13ページには学校体育施設開放事業について、開放校と開放施設、使用されている種目等を一覧にしております。14ページには、学校体育施設開放事業の利用者数を過去3年分記載しております。全般的に、令和元年度から利用者数が減少しており、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が大きな原因と思われます。

次に、K I X泉州国際マラソンについて、例年、関西国際空港の地元9市4町による、広域行政の推進及び泉州地域の活性化、国際化を目的として、フルマラソンと、ほぼハーフマラソンのチャレンジランを実施しておりますが、令和2年度、3年度ともにコロナ禍により中止（オンライン開催のみ）となりました。なお、今年度は令和5年2月12日（日）に開催する予定でございます。岸和田市スポーツ推進計画の進捗状況について

平成29年度末に策定し、10か年計画として、平成30年度からスタートしました「スポーツ推進計画」についての進捗状況の報告でございます。資料6をご覧ください。

なお、その参考資料として、資料5が計画書（抜粋版）でございます。

各表の左側が計画で謳われている取組内容でございまして、右側が推進計画4年目の進捗状況に当たります。昨年度（令和3年度）に実施した主な事業の実績でございます。令和3年度につきましては、今年度と合わせて、コロナ禍のなか、各課において、開催の中止や縮小を余儀なくされた事業・取り組みが数多くございましたが、実施されました事業・取り組みの中から、いくつか抜粋して報告いたします。

まず競技スポーツ大会の開催ということで、市民スポーツ大会が14種目で開催され、

合計3, 153名の参加でございました。次に「親子で取り組めるスポーツの推進」で、生涯学習課の定期講座として「親子リズム体操」や「親子体操」等を、各地区公民館にて開講しております。続きまして、スポーツ環境の整備の項目で、「オーパスシステムの運営」のところ、各スポーツ施設の予約が21,840件ございました。

次に、スポーツ活力を活かした魅力の創造の項目で、「スポーツ大会等の成績優秀者に対する表彰」で、全国大会等で優秀な成績を収めた選手に対し、教育委員会表彰を3団体、個人22名に行いました。スポーツ推進計画の進捗状況については以上です。

事務局：岸和田市スポーツ推進計画の中間見直しのアンケートについて、岸和田市スポーツ推進計画の期間は、2018年度から2027年度までとしおり、中間の見直しが必要であるかどうかを検討するため、アンケート調査を実施します。一般用については、今回の調査は中間での見直しのため、前回と比較することが必要となり、前回（平成28年）のアンケート内容とは、基本的に変更しておりませんが、「現在、スポーツを行っていない方が、どのように運動・スポーツに取り組んでいただけるか」というような質問を8つ追加、スポーツ推進計画策定以降、状況が変化しており、変化したものについての質問を6つ追加、計14の質問を追加しております。以上が、一般のアンケート内容です。アンケート対象も前回と同様、18歳以上、4000人として、11月中の発送、12月末から1月初旬の締め切りを予定しております。小中学生向けのアンケートについて、こちらも、前回と基本は同じ内容ですが、「休み時間や、家に帰ってからなどに運動やスポーツをしていますか」の質問の後に、している子供たちには「どのようなことをしているのか」、していない子供たちには「なぜしないか」の質問を追加いたしました。

その他の変更点としては、前回は色々なスポーツを選択肢に入れていましたが、クラブ活動として現実味のないものは、その他で記入いただけるため、岸和田市でも現実的に参加できそうな種目を追加しております。以上が、一般の小、中学生への内容となります。対象も前回と同様、小学校は4年生・中学校は2年、前回と同じ小中学校を含み、400人程度に学校を通して依頼したいと考えております。

幼稚園・保育園児向けのアンケートについて、幼保の年代は前回アンケートを取ってありませんが、岸和田市スポーツ推進計画にも幼児期からの運動・遊びの推進の取り組みがあることから、保護者の方へ「運動の頻度や習い事の有無」「習い事のきっかけや習い事の成果」についてのアンケートを作成しました。対象はアンケート調査を行う、小学校校区の幼稚園・保育園を予定しております。今回のアンケートにつきましては、前回のアンケート同様に、このスポーツ推進審議会の委員でもあります学識経験者の委員にご協力をいただき作成しております。

委員長：ただいまの説明について、質問などありましたらどうぞ。

委員：中学校・小学校の学校体育施設開放事業は、各学校に委託をしていると思いますが、今後働き方改革を含めて部活動が変わってくると思います。この事業を行っている中で教頭先生の負担がすごく重くなっています。このことを改善していく必要が大いにあると思います。去年は、新型コロナウイルス関連でスポーツ振興課から出てくる案件が、学校からかけ離れたことなのに学校に願います。それは全く違う話ではないのかと思いました。来年からは部活動の移行措置になっていきます。2025年には完全実施になります。岸和田市ではどのように考えているのかを聞けると思って本日出席しました。このことは改善していく必要が大いにあるのではないかと考えていたと思います。次に、小中学校のアンケートですが、校区ごとにするという意味合い、今回は校区で行なったということですが、それは何か意味があるのですか。山手地域、海手地域で状況が違うと思います。一定の校区を限定するということは何をみようとしているのか疑問に思いました。前回のことが分かってなくて申し訳ないですが、そのところをお知らせいただければと思います。

委員長：貴重なご意見ありがとうございます。事務局から回答をお願いします。

事務局：まず1点目の学校体育施設の開放事業の先生の負担軽減については考えていかなければいけないと思いますが、今の段階では具体的にどうしていくといったようなことはない状況です。中学校と小学校のアンケートの取り方ですが、今回は、岸和田市の小・中学校4校ずつ各校約100名にアンケートを取らせていただきました。ということで、アンケートの取り方としては、今回は前回と同じところで取れるのが一番よいのではないかと思います、前回お願いした校区で取らせていただく予定です。

委員：説明は分かったのですが、なぜ4分割してその中の1分割のところだけにアンケートをとる必要があるのか不思議です。大人は4,000人だけど全部の地域で取るのですよね。ではなぜ子供だけその地区に限定する必要があるのかを聞いたかったのと、もう一点、働き方改革の中で今すぐに対処できないのは分かっています。考えていく必要があるということを前向きに検討していただきたいということです。学校もお金を設備費として付与していただいているのはありがたいと思うのですが、やり方をもう少し改善する必要があるのではないかと思います。今まで考えてなかったわけではないと思うのですが、もっと前向きに考えていただきたいという意見です。

委員：スポーツ庁から中学校のクラブが民間に移行するということについて、3年後には、

土休日の中学の部活はなくなり、現在、休日に実施している部活は民間にその受け皿を考えてほしいと聞いています。そして2027年からは先生の負担になるので中学の部活は全部廃止になります。中学校の施設は使わずに、総合体育館、中央体育館、小学校の体育施設を利用するという情報があります。もう一点、中央体育館で少林寺拳法クラブとして活動しているクラブがあります。そのクラブが2023年3月で中央体育館を使えなくなるという話がありました。中央体育館がつぶれるというわけではなく、使用の優先順位で場所取りができなくなり、クラブそのものが存続できなくなるということですが、このことについて情報があればお願いします。

事務局：学校開放事業につきまして先生方の負担軽減は課題だと思います。こうすればよいという具体的な方法は、今すぐにはございませんが検討していきたいと思います。中学校の部活動ですが、今年の6月に国から示されました。来年度から3年間かけてまず休日を地域で活動するということです。活動場所は、学校の施設、グラウンドや体育館は使えると思います。現在は、関係課で意見交換や情報収集しているところです。

事務局：少林寺拳法だけでなく体育館クラブ全体について説明させていただきます。まず来年の3月ではなく、再来年の3月です。クラブ活動ができなくなるのではなく、今は体育館クラブについては1年分のスケジュールを優先的に先押さえさせていただいたのですが、令和6年4月からは一般利用の方と同じようにご自身で予約をして取ってくださいと言うことで、クラブ活動をやめてくださいということではありません。

委員：各団体は独自で練習場を確保していくということですか？

事務局：そういうことになります。

委員：わかりました。

委員：学校の部活動を切り離すという話で、来年度から移行期間をつくり、最終的に学校と部活動は離れていくと思います。施設管理をスポーツ振興課がするのかどうかは分かりませんが、予算化をしておかないと後々困るということです。学校から切り離れたときに、誰が運営するのかということを考えておかなければいけないと思います。先を見据えて負担軽減を含めて考えていかなければいけないと思います。学校から切り離して予算化し管理してほしいと思います。

委員長：貴重なご意見をありがとうございます。何か他にございますか。

委 員：アンケートについて、これは紙面でランダムに送って答えてもらうのですか

事 務 局：基本的には紙でアンケートを送らせていただきます。そこにQRコードつけ、スマホ等で回答できるようにします。紙の場合は返信用封筒で送付してもらう回答と、電子回答の2パターンを考えています。小学校・中学校につきましては、先生の負担になると思いますが、配布、回収をしていただき、スポーツ振興課がもらい受けに行くということになります。幼稚園は、保護者の方に回答していただくので、QRコードを付け、回答率をあげたいと思います。

委 員：そのランダムに送った人がQRコードで答えられるというのはとてもいいと思いますが、例えば市役所に来庁した方にQRコード付きのカードのようなものを書類と一緒にお渡ししたら、偶然市役所に訪れた人もこのアンケートに答えることができると思います。そうすればランダムにアンケートを送付した人よりもっといろんな人からの意見が得られると思います。それと小学校と中学校に関して、中学生なら携帯をもっているのをそれを使って回答ができると思ったのと、小学校はタブレットがあるかと思います。

委 員：小学校も中学校もタブレットを活用しています。

委 員：それを活用してゲームのようにできたら、容易に答えられ回答率が上がるのではないかと思います。

事 務 局：小学校・中学校の生徒はタブレットを持っているということなので、校長会の会長と話をさせていただき、QRコードの件も話す予定です。

委 員：スポーツ推進計画について、平成30年からの10年計画で、現在計画進行の途中ですが、まず10年というのはどうでしょうか。国のスポーツ基本計画は5年で行っていると思います。オリンピックが終わり、第3期に入っていると思います。市の計画が10年というのは長いのではないかと思います。5年を1つの途中経過として通達されるのかどうかですが、私の手元に堺市スポーツ推進計画があります。計画が終了して平成28年に1冊の冊子にまとめられています。内容はスポーツの参加人数などで、ほとんど同じものです。このような冊子が10年となると莫大な量になるのではないかと思います。5年が経過し現在どのような進捗でこういった状況なのかをお伝えいただけたらと思います。私自身、推進計画が実施しているということを知らなかったの

で、スタートと計画の目的などを報告していただけたらと思います。

委員長：これは計画の途中についてですが、事務局お願いします。

事務局：今年で計画5年目になりますが、10年計画の期間を変更するのは難しいと思います。
今後、中間見直しで、改正等を検討していきたいと思います。

委員長：他にご意見ございませんか。ないようでしたらスポーツ推進審議会を終了します。

事務局：本日は貴重なご意見をいただきありがとうございました。